

## 政策 28 「調和ある県土利用の推進」

政策 28 「調和ある県土利用の推進」は、自然環境・生活・生活活動等が調和した県土の有効利用を図るため、社会経済情勢の変化に対応しながら、総合的かつ計画的な土地利用を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 28 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 19.0%、低認知度群は 81.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（21.7%）が女性（16.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（29.5%）が 65 歳未満（15.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（24.9%）では、回答者全体と比較して 5.9 ポイント高い。

石巻圏域（13.0%）では、回答者全体と比較して 6.0 ポイント低い。

(%)

政策 28 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	0.9	18.1	19.0	58.2	22.8	81.0	100.0

性別	男性	1.2	20.5	21.7	57.9	20.4	78.3	100.0
	女性	0.7	15.6	16.3	58.4	25.3	83.7	100.0
年齢別	65 歳未満	0.9	14.3	15.2	58.9	25.8	84.7	100.0
	65 歳以上	1.0	28.5	29.5	55.9	14.6	70.5	100.0

圏域別	仙台	0.0	18.8	18.8	56.8	24.4	81.2	100.0
	仙南	2.6	16.5	19.1	55.7	25.2	80.9	100.0
	大崎	0.9	21.6	22.5	57.6	19.9	77.5	100.0
	栗原	1.6	23.3	24.9	53.5	21.7	75.2	100.0
	登米	0.5	15.9	16.4	60.3	23.4	83.7	100.0
	石巻	1.1	11.9	13.0	61.1	25.9	87.0	100.0
	気山沼・本吉	0.0	16.5	16.5	61.6	21.9	83.5	100.0

有効回答者数 1,612 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 28.1%、低認知度群は 71.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(41.6%)では 13.5 ポイント、石巻圏域(34.7%)  
では 6.6 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 41.8%、低認知度群は 58.2%である。

(%)

政策 28 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.4	25.7	28.1	58.6	13.3	71.9	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	23.3	25.0	61.2	13.8	75.0	100.0
	仙南	0.0	27.8	27.8	53.7	18.5	72.2	100.0
	大崎	2.6	24.7	27.3	61.0	11.7	72.7	100.0
	栗原	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	71.4	100.0
	登米	8.3	33.3	41.6	50.0	8.3	58.3	100.0
	石巻	13.0	21.7	34.7	39.1	26.1	65.2	100.0
	気山沼・本吉	0.0	31.6	31.6	63.2	5.3	68.5	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	3.0	38.8	41.8	50.7	7.5	58.2	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 28 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 51.9%、低関心度群は 48.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（58.3%）が女性（45.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（64.6%）が 65 歳未満（47.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（59.5%）では、回答者全体と比較して 7.6 ポイント高い。

石巻圏域（39.8%）では、回答者全体と比較して 12.1 ポイント低い。

(%)

政策 28 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	10.7	41.2	51.9	38.7	9.4	48.1	100.0

性別	男性	13.2	45.1	58.3	34.2	7.5	41.7	100.0
	女性	8.2	37.4	45.6	43.2	11.2	54.4	100.0
年齢別	65 歳未満	8.5	38.7	47.2	42.5	10.3	52.8	100.0
	65 歳以上	16.9	47.7	64.6	28.6	6.8	35.4	100.0

圏域別	仙台	11.7	39.3	51.0	41.6	7.5	49.1	100.0
	仙南	11.2	39.5	50.7	39.1	10.3	49.4	100.0
	大崎	10.7	45.9	56.6	33.9	9.4	43.3	100.0
	栗原	16.4	43.1	59.5	32.1	8.4	40.5	100.0
	登米	10.1	38.7	48.8	42.9	8.3	51.2	100.0
	石巻	3.8	36.0	39.8	46.8	13.4	60.2	100.0
	気山沼・本吉	8.4	42.7	51.1	39.3	9.6	48.9	100.0

有効回答者数 1,629 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 49.5%、低関心度群は 50.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(71.4%)では 21.9 ポイント、登米圏域(58.3%)では 8.8 ポイント、気仙沼・本吉圏域(57.9%)では 8.4 ポイント、石巻圏域(56.5%)では 7.0 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 70.1%、低関心度群は 29.9%である。

(%)

政策 28 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	6.0	43.5	49.5	45.3	5.1	50.4	100.0	
圏 域 別	仙台	7.8	37.9	45.7	48.3	6.0	54.3	100.0
	仙南	0.0	50.9	50.9	43.6	5.5	49.1	100.0
	大崎	3.8	42.3	46.1	48.7	5.1	53.8	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	25.0	33.3	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	13.0	43.5	56.5	34.8	8.7	43.5	100.0
	気仙沼・本吉	5.3	52.6	57.9	39.5	2.6	42.1	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	19.4	50.7	70.1	26.9	3.0	29.9	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 28 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	50.0	40.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	28.3	(71.7)
満足度 60点未満の割合		64.3
要検討領域にある回答者全体の割合		36.0

有効回答者数；重視度 1,594人、満足度 1,576人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	1594	1576
	欠損値	127	145
平均値		65.00	48.74
平均値の標準誤差		.453	.441
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.104	17.495
分散		327.762	306.087
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	55.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	55.0	48.8	6.3
第3四分位数(75パーセントイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	26.0	(74.0)
満足度 60点未満の割合		54.2
要検討領域にある回答者全体の割合		28.2

有効回答者数；重視度 334人、満足度 334人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	334	334
	欠損値	4	4
平均値		64.58	52.95
平均値の標準誤差		.860	.802
中央値		65.00	55.00
最頻値		60	60
標準偏差		15.715	14.655
分散		246.971	214.775
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	55.00	48.75
	40	60.00	50.00
	50	65.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

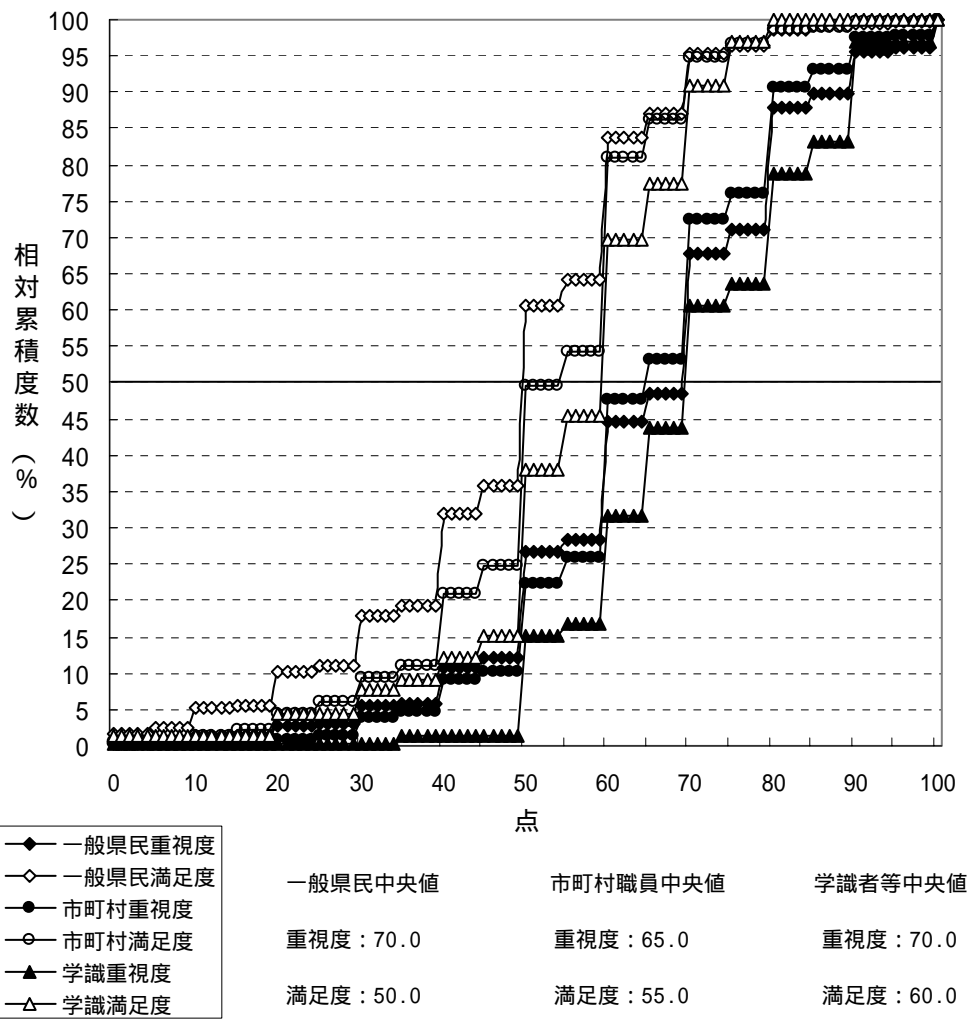
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	16.7	(83.3)
満足度 60点未満の割合		45.5
要検討領域にある回答者全体の割合		28.8

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		70.38	56.36
平均値の標準誤差		1.765	1.699
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.340	13.799
分散		205.624	190.420
範囲		65	65
最小値		35	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	55.00
	50	70.00	60.00
	60	71.00	60.00
	75	80.00	65.00

「政策28 調和ある県土利用の推進」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 15.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 38.7%、女性 32.9%と推定できる。

#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

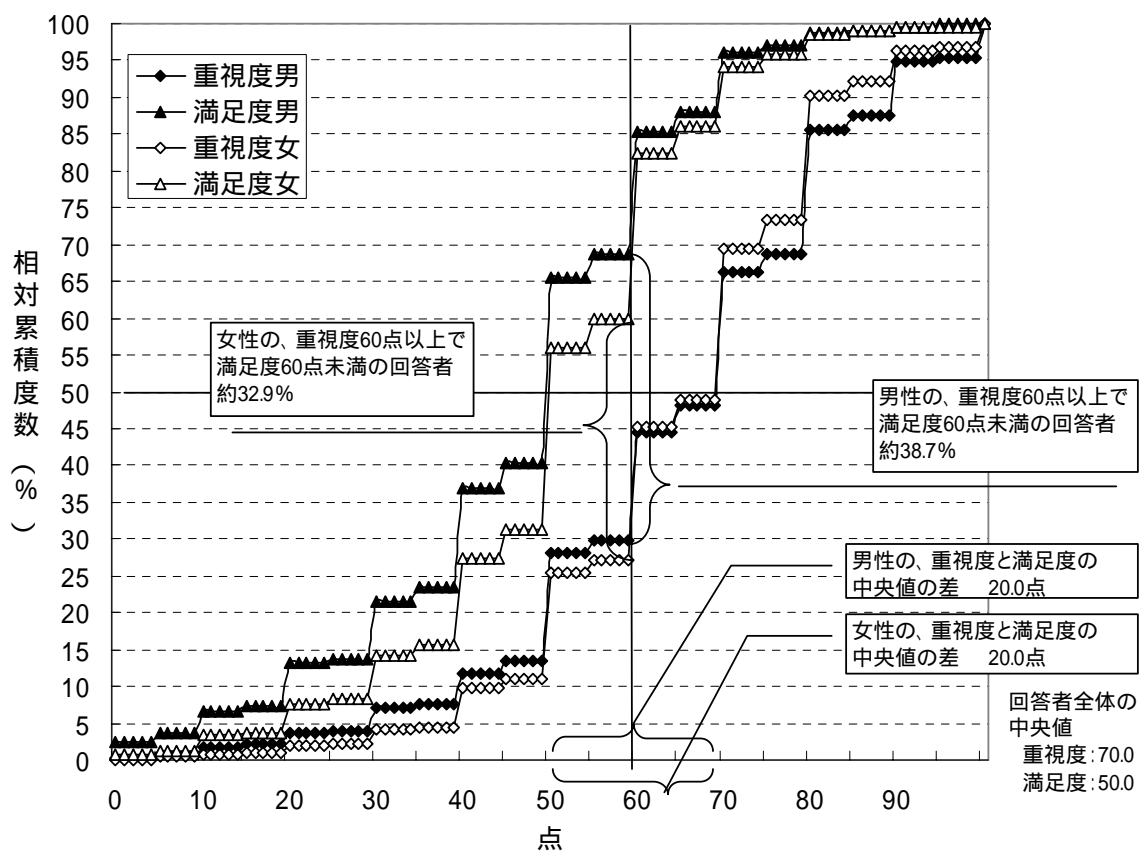
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.9 (70.1)	27.1 (72.9)
満足度 60 点未満の割合	68.6	60.0
要検討領域にある回答者全体の割合	38.7	32.9



(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	769	758
	欠損値	34	45
平均値		64.92	46.61
平均値の標準誤差		.702	.666
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		19.464	18.330
分散		378.867	335.979
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	45.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	807	801
	欠損値	89	95
平均値		64.97	50.77
平均値の標準誤差		.592	.581
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.807	16.451
分散		282.474	270.629
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	56.00
	75	80.00	60.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満（65.0 点）が 65 歳以上（70.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（15.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 35.4%、65 歳以上 36.6%と推定できる。

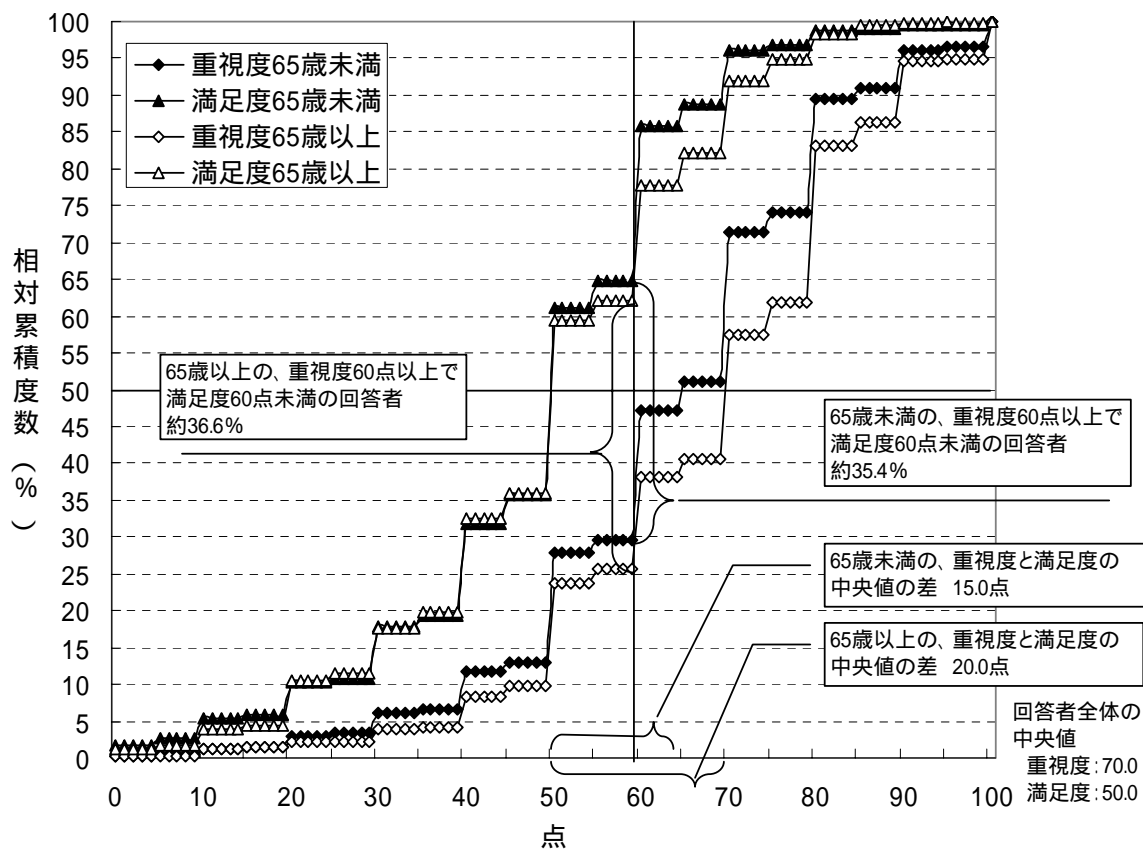
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	50.0	50.0	55.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	29.5 (70.5)	25.6 (74.4)
満足度 60 点未満の割合	64.9	62.2
要検討領域にある回答者全体の割合	35.4	36.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	1183	1171
	欠損値	57	69
平均値		63.93	48.40
平均値の標準誤差		.525	.507
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.052	17.344
分散		325.877	300.831
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策28重視度	政策28満足度
度数	有効	391	386
	欠損値	66	71
平均値		67.99	49.77
平均値の標準誤差		.917	.917
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		18.141	18.014
分散		329.100	324.491
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(60.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント、登米圏域(65.0点)、石巻圏域(65.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(13.8点)、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)の4圏域が回答者全体(15.0点)よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(75.0点)が回答者全体(65.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(70.0点)が5ポイント高く、仙南圏域(60.0点)、気仙沼・本吉圏域(60.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3圏域が回答者全体(55.0点)よりも大きく、仙南圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の3圏域が小さい。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、登米圏域(14.4点)、仙台圏域(12.5点)の4圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)、仙南圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、登米圏域(11.3点)、石巻圏域(10.0点)、仙南圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(5.6点)よりも大きく、仙台圏域(5.0点)、大崎圏域(5.0点)、気仙沼・本吉圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	65.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	50.0	50.0	52.5	60.0	55.0	50.0	50.0	50.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	10.0	10.0	12.5	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	15.0	15.0	13.8	10.0	12.5	15.0	12.5	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	60.0	70.0	65.0	75.0	65.0	60.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	15.0	15.0	10.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	50.0	60.0	60.0	50.0	56.3	60.0	50.0
	満足度	48.8	50.0	45.0	50.0	40.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	6.3	0.0	15.0	10.0	10.0	6.3	20.0	0.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	75.0	75.0	70.0	75.0	80.0	85.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	72.5	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	10.0	15.0	15.0	12.5	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	5.0	7.5	15.0	14.4	7.5	15.0
	満足度	5.6	5.0	7.5	5.0	12.5	11.3	10.0	5.0

#### 4. 政策 28 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 80.4% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 17.3% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 2.3% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 83.2% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 14.6% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 2.1% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「土地の計画的利用の推進」( 84.8% ) である。

第 2 位は施策 2 「土地取引の適正化」( 9.1% ) である。

第 3 位は施策 3 「その他」( 6.1% ) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

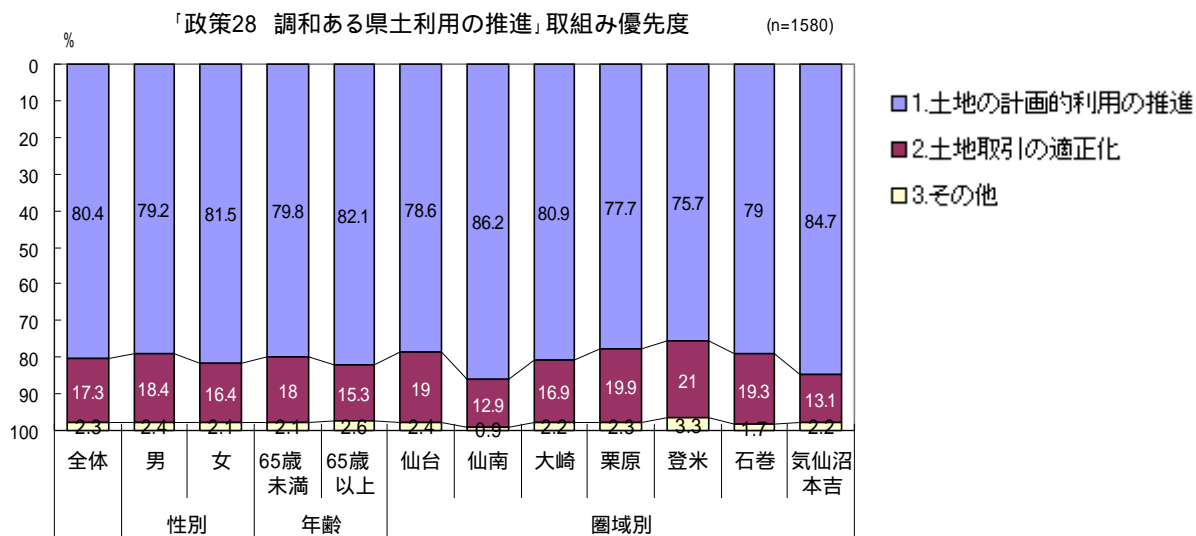
65 歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

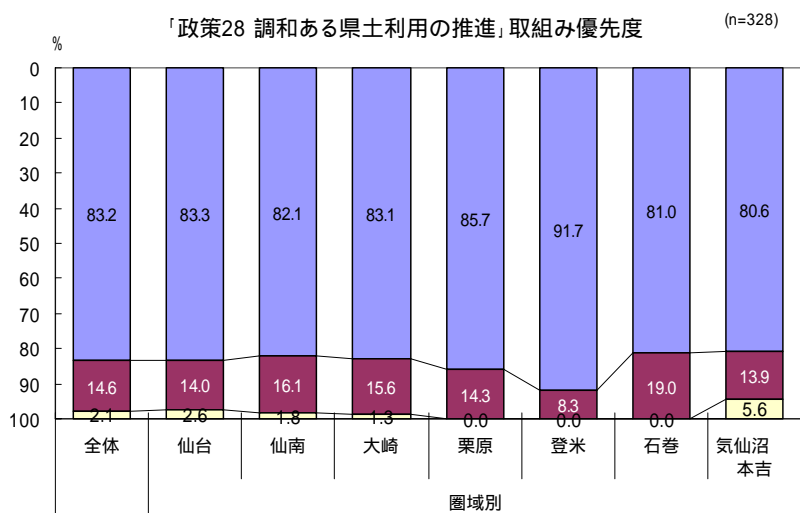
一般県民では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、  
圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

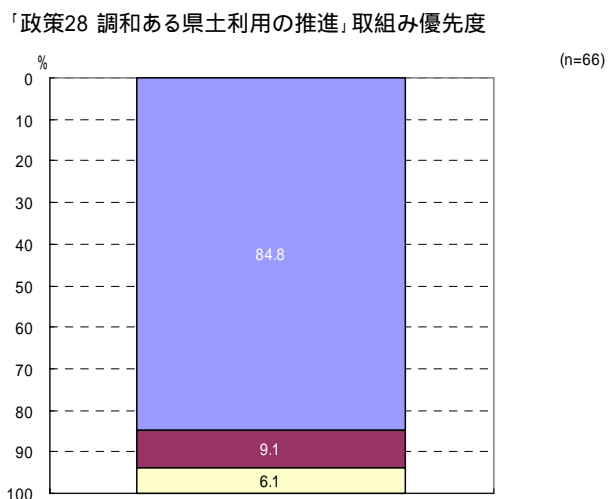
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】





政策 28 「調和ある県土利用の推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.土地の計画的利用の推進	80.4	79.2	81.5	79.8	82.1	78.6	86.2	80.9	77.7	75.7	79.0	84.7
2	2.土地取引の適正化	17.3	18.4	16.4	18.0	15.3	19.0	12.9	16.9	19.9	21.0	19.3	13.1
3	3.その他	2.3	2.4	2.1	2.1	2.6	2.4	0.9	2.2	2.3	3.3	1.7	2.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.土地の計画的利用の推進	83.2	83.3	82.1	83.1	85.7	91.7	81.0	80.6
2	2.土地取引の適正化	14.6	14.0	16.1	15.6	14.3	8.3	19.0	13.9
3	3.その他	2.1	2.6	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	5.6

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.土地の計画的利用の推進	84.8
2	2.土地取引の適正化	9.1
3	3.その他	6.1

